

産禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・産禅洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診察日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00~12:00
 〒502-0017 岐阜市長良雄郷878-16
 IP Tel: 058-295-9545
 FAX: 058-296-3903
 E-mail: zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/
第120号 2014.3.1.
 毎月1回発行 産禅洞診療所 松井英介



「健康ノート」、なぜ記録するのか

松井英介

私たち医師・医療者には、受診患者のカルテを保存することが、義務づけられています。患者さんが初めて受診されたとき、私たちは、今困っている病状のほかに、家族歴、既往歴、職業歴、喫煙歴、アスベスト暴露歴などについて訊かせていただいて、カルテに記録します。患者さんの中には、根拠り葉掘り訊かれて嫌だなと思う方がいるかもしれませんが、病状を判断するために必要だから、お訊きするのです。「健康ノート」はその延長線上にあるものだと、私は考えています。

「患者さんの病気だけ診る医者を小医、まるごと人間として診る医者を中医、患者さんの社会的背景まで診る医者を大医という」ことが言われます。できれば努力して、大医になりたいと、私は思っています。WHO（世界保健機関）は健康をつぎのように定義づけました。「肉体的精神的に良いだけでなく、社会的に良い状態を、健康という」。がんの90%以上は、環境にその原因があると言われます。がんの専門医といわれる医師も、このことに異論はありません。私は、がんだけでなく、その他の病気も、自然や社会環境にその原因があると思っています。患者さんでも、すでに気づいている方がいらっしやいます。でも、気づかなかつたり、時間が経つたため忘れてる方もあります。

沢井余志郎さんは書いています。

「なんのために公害を記録するのか・・・その答えの一つは、魯迅のこの文章に書かれてある、『忘れっぽさのために、前人のあやまちを繰り返さず』そうならないためです」。

「産業界のみならず、国や自治体にとっても大きなショックとなった、患者側勝訴の四日市公害ぜんそく判決（1972年）から12年が過ぎました。それを待っていたかのように、企業も、行政も、そして、公害に反対することにつとめた学生や運動のリーダーからも、『四日市公害は解消した』との言動が公然化・・・『公害健康被害補償法』の地域指定を解除しようとする動きが顕著になっています」「しかし、・・・公害発生源はなくなっていないし、なによりも、公害患者がいまも発生している事実を消し去ることはできません。「・・・事実を確認し、記録していくことは、今もなされなければならないと思います」^{1) P.22~3}。

「健康ノート」がやっと発刊の運びとなりました。ぜひとも手にとってお目通しください。これは個人の記録ですが、同時に、日本中でこの「健康ノート」が使われ、核の時代の証言集として、子や孫やさらに玄孫に語り継がれていきますようにと、願っています。 (以下、次号)